|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 現代の国語 | 単元名 | 伝わるように話す |
| 使用教材 | 『設計図を最初に渡せ！』  伝わるように話す | 使用教科書 |  |
| 単元について | 【教材観】  他者に情報を伝えるときに注意すべき点が端的にまとめられており、単元の導入として扱いやすい。タイトルも印象に残りやすく、全４時間の中で意識しやすい。また、伝わるように話すために意識するべきことをまとめたコーナーもあり、クラス内でプレゼンをする事前学習としてコンパクトに要点を押さえられる。  【生徒観】  明るく活発な生徒が多く、日頃からペア活動、グループ活動にも積極的に取り組む。文化祭準備を機に自分の意見を臆せず発言できる生徒が増えてきた。国語に苦手意識を持つ生徒もおり、特に書いたり話したりすることが苦手だと感じている生徒の割合が高い。人前で話した経験が少ない生徒もいる。  【指導観】  急速に変化する社会で生きていくために、生徒たちに情報を見極める力や他者と協働して課題を解決する力を育む必要がある。そのためこの単元では、〔思考力、判断力、表現力等〕のA「話すこと・聞くこと」に重点を置き、他者と協働するために必要な「伝え合う力」の育成、特に相手にわかりやすく伝える力の向上を目標とする。  事前学習として教科書の本文の読解と簡単なワークを行い、そこでの気づきや理解を基にプレゼンテーションの準備をさせる。プレゼンテーション及び相互評価を通して、実際に他者に伝えることを経験させたい。またワークシートの「振り返り」を使って、できるようになったことや単元の前後で感じた変化を自己分析させることで、単元の目標を意識させながら、生徒の成長につなげたい。 | | |

現代の国語　単元指導計画

１　単元の目標

（１）話し言葉の特徴や役割を理解し、組み立てや接続を意識した説明ができる。

（知識及び技能（１）イ、オ）

（２）適切な情報を収集したうえで「言いたいこと」を明確にし、聞き手が理解しやすい説明

ができる。

（思考力、判断力、表現力等　Aア、イ、ウ）

（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

　　（学びに向かう力、人間性等）

２　単元の言語活動

・グループの中でプレゼンテーションの内容、注意点について話し合い、練習する。

・集めた情報をパワーポイントにまとめ、クラスの前でプレゼンする。

３　単元の観点別評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①話し言葉の特徴や役割を理解し、組み立てや接続を意識した説明をしている。 | ①【話すこと・聞くこと】におい  て、適切な情報を提示しながら「言いたいこと」を明確にし、聞き手が理解しやすい説明の工夫をしている。 | ①プレゼンテーションを通して、伝え方を工夫することで、伝え合うことの知識・技能、経験値を育み、今後につなげようとしている。 |

４　指導と評価の計画（全４時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 次 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
| 1 | ○単元の目標や進め方を確認する。  ○『設計図を最初に渡せ！』を読む。  ○｢伝わるように話す｣でワーク①、②を行う。  ○話し言葉の特徴、理解しやすい説明や表現について考える。 | ・言いたいことをはじめに伝えることで、相手に  　伝わりやすくなることを理解させる。  ・ワーク①、②を通して、話し言葉の特徴を理解  　させる。  （話す順序、文の長さ、単語の選択、接続の仕方）  わかりやすい伝え方の観点を挙げ、プレゼンテ  ーションの見通しを持たせ、事前学習とする。  ・確認したことをワークシート❶に記入させ、プ  レゼンテーションの準備の際に見直せるようにしておく。 |  |
| 2 | ○プレゼンテーションの計画書、話す項目、パワーポイント資料を作成する。  ○「わかりやすく伝える」を追究する。 | ・プレゼンテーションの具体的な説明をする。  ・グループ内での分担（導入、説明、まとめ）と  内容の概略（場所、見どころ等）を計画書に記  入させる。（ワークシート❷）  ・話し言葉の特徴を捉え、わかりやすい伝え方を  　意識させる。原稿は作成させず、話す項目の整  理や、説明の構成、話し方の工夫、を考えさせる。（ワークシート❷）  ・パワーポイントで資料を作成させる。 | ［思考･判断･表現］①  「記述の点検」  ワークシート❷  ・言いたいことが明らかになっているか。  ・話す順序や接続の工夫ができているか。 |
| 3 | ○グループで練習する。  ○リハーサルを行い、  グループ内で相互評価をする。  ○グループ内で修正する。 | ・グループ毎に練習する。（20分間）  ・リハーサルを行い、グループ内で相互評価する。  動画で記録させる。  ・相互評価とともに、動画を見直して改善点を伝  　え合い、修正したことを記述する。（ワークシー  ト❷裏面）  クラス内発表に向けてグループで調整する。  **いずれの活動も第１時で確認した「わかりやすい伝え方の観点・プレゼンテーションの評価規準」を基に活動させる。** | ［思考･判断･表現］①  「記述の点検」  ワークシート❷  ・聞き手が理解しやすいように、修正や工夫ができているか。 |
| ４（本時） | ○クラス全体でプレ  ゼンテーションを  行う。  ○聞き手はグループ  単位で評価をする。  ○振り返りをして、単元で得た気づきや経験を記録する。 | ・クラス内でプレゼンテーションを行う。  ・聞き手は１〜５の５段階でグループの評価を行う。（ワークシート❸）  ・わかりやすく伝えるために考えたことやわかったこと、また今後意識したいことを記述させる。（ワークシート❸） | ［知識･技能］①  ［思考･判断･表現］①  ［主体的に学習に取り組む態度］①  「行動の分析」  発表の様子・記録動画  ・第１時に確認した規準を基に発表本番の行動を分析する。  「記述の分析」  ワークシート❸  ・相手にわかりやすく伝える活動から、今後の学びや生活につなげようとしているか分析する。 |

５　学習指導案(4時間目/全４時間)

本時の目標

ア：説明の効果的な組み立てや接続の仕方について理解している。〔知識･技能〕

イ：資料を効果的に用いて、相手にわかりやすく伝える工夫をしている。〔思考・判断・表現〕

ウ：話す、聞くといった伝え合う活動に参加し、自らの言語能力を調整しようとしている。〔主体的〕

本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容 | 学習活動 | 評価規準と目標達成のための手立て |
| 導入  ３分 | ・わかりやすい伝え方の観点の確認 |  | **わかりやすい伝え方の観点**  ・聞き手が理解しやすいような言葉を使えているか。  ・適切な情報を収集し、整理して説明ができているか。  ・言いたいことを明らかにした上で説明できているか。  ・話す順序や接続を考えているか。 |
| 展開  40分 | ・国内旅行プランの  　プレゼンテーショ  ン | ・グループ毎にプレゼンテーションを行う。  ・聞き手は４つの観点に対して、１〜５段階でグル  ープへの評価をする。（ワークシート❸） | 【目標アに対する評価規準と評価方法】  規準：適切な表現や話す順序を意識できている。  方法：｢行動の分析｣　発表の様子  【目標ア達成のための手立て】  授業後にワークシートへのコメントで、言葉遣い等の助言をする  【目標イに対する評価規準と評価方法】  規準：適切な情報を用いながら、伝えたいことを明確にした話し方になっている。  方法：｢行動の分析｣　発表の様子  【目標イ達成のための手立て】  授業後にワークシートへのコメントで、文章の組み立て等を助言する。  【目標ウに対する評価規準と評価方法】  規準：プレゼンテーションを通して、言語能力を調整しようとしている。  方法：｢行動の分析｣　発表の様子  【目標ウ達成のための手立て】  授業後にワークシートへのコメントで、伝え合うことの重要性や話すことのポイントについて助言する。 |
| まとめ  ７分 | ・プレゼンテーショ  ンの振り返り | ・わかりやすく伝えるために必要なことや、説明する時に今後意識したいことをまとめる。  （ワークシート❸） |  |